

# 富山県 中央植物園だより



## セイヨウオキナグサ *Pulsatilla vulgaris* (キンポウゲ科)

ヨーロッパ原産。花後にできるタネに長く白い毛があり、そのタネが密集して風にそよぐ姿を老人の白髪に見立てて「オキナグサ (翁草)」と呼ばれているといわれます。

植物写真展 「風に吹かれて」 撮影 / 若林 繁さん



## 長い距は誰のため？

答え：スズメガの一種、キサントパンスズメガ

マダガスカル島にのみ自生するラン、アンブレカム・セスキペダレの花には、とても長い距といわれる蜜をためる部分があります。進化論で有名なチャールズ・ダーウィンは、この中から蜜を吸える長いストロー（口吻）を持ったスズメガがいると预言しましたが、当時は誰も信用しませんでした。それから 41 年後、ついにマダガスカル島で長い口吻をもつキサントパンスズメガが発見されました。このいきさつから、ダーウィンオーキッドとも呼ばれます。

# Reports イベント報告

## 令和5年度 植物園研究発表会

当園は、来園される方に展示やイベントなど、さまざまな形で植物の魅力をお伝えする役割を担っていますが、県立植物園として、県の植物多様性保全や植物園活動を下支えする



サクラの発表に耳を傾ける聴衆

栽培技術の調査・研究も欠かせません。職員はそれぞれの専門分野を生かして、日々コツコツと研究を行っています。研究発表会は年に一度、その成果をみなさんに知っていただく貴重な機会です。

今年度は富山市で発見されたサクラの新品種についての報告や、夏のイベントでおなじみ、パラグアイオニバスの種子の貯蔵方法など、あわせて9つのテーマについて

発表が行われました。みなさん興味深そうに発表に耳を傾けておられ、質問が出る場面もありました。

当園に来られる折には、地道な研究が植物園を支えていることをちょっと思い出してくださると嬉しいです。(西村幸芳)



ポスターによる研究発表展も開催

## 第52回 富山県蘭まつり大会

3月1日～3日に富山県蘭協会との共催により、北陸最大の蘭の展示会である「第52回蘭まつり大会」を開催しました。



特別展示のコーナー

会員が丹精込めて育てたカトレヤやシンビジウム、シュンランなど291点が展示され、会場は蘭の甘い香りに包まれました。また、「中央植物園のラン栽培と展示」と題したパネルや、植物園所

有のランの特別展示も行われ、「ダーウィンのラン」として知られるアンブレカム・セスキペダレの大株に見入ったり、熱心に写真を撮る来場者が見受けられました。

美しい花々の展示を見ると、やっぱり手元に欲しくなるもの…販売コーナーも株を吟味するお客さんでにぎわいました。

(西村幸芳)



不思議な花形の原種ユウコ克蘭

## Topic 植物園裏話

### キョチクのテポナストリづくり

2023年11月27日に伐採したキョチクを使って二代目テポナストリを作成しました。「テポナストリ」とは中米のトンゴドラム的一种で、空洞の木などに複数の形の異なるスリットをいれて板を「舌」状にし、その部分をたたいて様々な音色を奏でる打楽器です。キョチクは大型のタケの仲間なので、中空の節間にスリットを入れることで、手軽にテポナストリが作れるのです。



植栽展示しているキョチク

熱帯雨林植物室のキョチクは毎年増えるので数年おきに伐採しています。この切り出したキョチクの良い利用法を模索していたとき、

他園でキョチクのテポナストリを展示しているのを知りました。そこで、切り出



ふむ、なかなかいい出来栄ですね～

したキョチクに電動ドリルで穴を開け、電動のこぎりのジグソーを使って節間ごとに思うままにスリットを10パターンほど入れて製作したのが、2019年12月にデビューした初代テポナストリです。演奏用のバチは、手芸が得意な早瀬主任が棒の先に手毬を作る要領で仕上げた本格仕様です。

初代より幹が肉厚だったため、作成には少し苦戦しましたが、響きの良い音がします。どなたでも演奏できるように熱帯雨林植物室の池の柵に設置しています。来園した子供たちが「ポン、ポン」と楽しそうに叩いています。時折、名もなき演奏家の心地よいリズムも聞こえてきます。(志内利明)

# News 園内ニュース

## 温室の照明を LED 化

植物園の展示温室内の照明は、夜間開園時だけでなく、日差しが少ない北陸の冬には昼間も点灯して日照を補助しています。平成6年～7年の展示温室建設時に水銀灯が設置されて、現在まで使用してきました。しかしながら設備の老朽化対策と省電力化を図るため、12月～2月初めまで、雲南温室→熱帯果樹室→熱帯雨林・ラン温室→高山・絶滅危惧植物室の順番で温室を閉鎖し、照明取替工事が行われました。

照明取替のために各温室には天井までの足場が数ヶ所ずつ設置され、作業が行われました。照明がLEDに変わって、温室の中がとても明るくなり、植物が見えやすくなったと思



熱帯雨林植物室に設置された足場



ラン温室の中央柱の照明

いますが、みなさんお気づきになりましたでしょうか!?

(吉田めぐみ)

# Events 注目イベント

## 「春のサボテン・多肉植物展」

4月27日(土)～29日(月・振)

富山サボテン会と共催で開催する春のサボテン・多肉植物展も、中央植物園での開催は今回で4回目となります。会員自慢の栽培株を中心に、会員同士が栽培の腕前を競い合った競作苗の展示や、春に開花する花サボテンを展示します。今回は「かわゆきちいさきもの(仮)」と題し、小型のサボテン・



鮮やかな花のスルコレブチア・ラウシー

多肉植物を集めた展示を行います。サボテンや多肉植物の即売も行いますので、お気に入りの一鉢を探しに来てみてはいかがでしょうか。

(早瀬裕也)

## 第39回 イワチドリ・山野草展

5月17日(金)～19日(日)

イワチドリとは、本州中部地方以西と四国に分布する小型の野生ランです。春～初夏に大の字の形をした1cm前後の花をつけます。園芸育種が盛んでさまざまな色や形のものがあり、昔から人気



花の色も形もさまざまなイワチドリ

のある山野草です。花の違いを楽しむために一株ずつ鉢に植えられたもののほか、他の山野草と寄せ植えにして自然な趣を楽しむ作品も展示されます。斑入りの山野草も併せて展示しますので、お楽しみに。

(西村幸芳)

# Note 園内さんぽ

## 芝生のモコモコ

ある冬の寒い日、園内を歩いていると枯れた芝生に直径30



犯人は誰だ!?

センチほどの土山をあちこちに発見。まるで誰かが砂場遊びをしたような見た目ですが、これ、何だと思いませんか?実はこれを作ったのはモグラで、その名もモグラ塚といえます。モグラが地中で餌

を探したり、すみかを掘ったときに出た残土を地上へ押し出すことによりできます。モグラは体脂肪がほとんどないためエネルギーを蓄えることができず、12時間何も食べずにいると死ぬとも言われています。そのため、寒い時期も冬眠せずに土の中でミミズや昆虫の幼虫などの餌を探し回っています。

畑では嫌われがちだけど、カナブンの幼虫も食べてくれます



(西村幸芳)

# Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。

※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

## 企画展・特別開園

4 17 (水)	富山県で見つけたサクラ【その2】 会場：サンライトホール
4 19 (金) → 21 (日)	42回 ツツジ・シャクナゲ展 会場：サンライトホール
4 27 (土) → 29 (月・振)	春のサボテン・多肉植物展 会場：サンライトホール
5 3 (金・祝) → 5 (日)	第45回 春のラン展 会場：サンライトホール
5 10 (金) → 29 (水)	「私の植物画展」 会場：サンライトホール
5 17 (金) → 19 (日)	第39回 イワチドリ・山野草展 会場：サンライトホール
5 31 (金) → 6 2 (日)	さつき・盆栽展 会場：サンライトホール
6 14 (金) → 16 (日)	第42回 ウチョウラン展 会場：サンライトホール
6 21 (金) → 7 10 (水)	国立公園アクティブ・レンジャー 写真展 会場：サンライトホール
6 30 (日)	オックスフォードガーデンパー ティー 会場：オックスフォードガーデン 10:00～16:00

### 緑のコンサート

5～6月、9～11月の第3土曜日 13:00～

会場はサンライトホールまたは屋外（天候によります）

## 講演会・講習会・観察会

4 20 (土)・21 (日)	栽培講習会 「シャクナゲの栽培と管理」 会場：サンライトホール 14:00～15:30
5 4 (土)・5 (日)	栽培講習会「ランの育て方と質問会」 会場：サンライトホール 10:30～12:00・14:00～15:30
5 25 (土)・26 (日)	植物画講習会 会場：管理研修棟 研修室 10:00～16:00 ※要申込
5 18 (土)	公開講演会 『レッドデータブック、改訂中!』 会場：管理研修棟 研修室 13:00～16:00
5 19 (日)	植物写真教室「やさしい花の撮り方」 会場：管理研修棟 研修室、園内 13:00～16:00 ※要申込

## 月例行事

### 植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園

第3日曜日：園長と歩く植物園

13:30～14:00 集合場所：サンライトホール

## 入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00 (入園は16:30まで)

11月～1月 9:00～16:30 (入園は16:00まで)

[休園日] 毎週木曜日

4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園

年末年始 (12月28日～1月4日)

[入園料] 大人500円 / 団体 (20名以上) 400円

冬期 (12月～2月) ー 大人300円 / 団体240円

年間パスポート (購入日より1年間有効) 2,100円

高校生以下・70歳以上は通年無料

[交通案内]

バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」

または「ファボーレ経由速星行き (休日のみ)」に乗りし、

「中央植物園口」下車、徒歩約15分

車：富山市中心部より約15分

北陸自動車道富山ICより約15分

JR 速星駅より約8分

## 団体向け学習プログラム

学校の遠足やPTA活動等ご利用の方向けに、植物園ならではの学習プログラムを提供しています。ご希望日の1週間前までに、学習プログラム申請書をご提出下さい (FAX可)。人数や時間、ご希望のコースについてはご相談ください。※1団体につき1つのプログラムに限らせて頂きます。

① オリエンテーリング 植物を探そう

写真と地図をヒントに、園内で植物を探すゲームです。

・対象：年長～小学生

・所要時間：30分～1時間半 (コースによって異なります)

② どんぐり工作

どんぐりや木の葉を材料に工作を楽しめます。

・対象：年長～小学生 ・所要時間：2時間

③ ドリアス講座

植物の面白さをスライドでわかりやすく解説します。

・対象：年長～一般 (10種類の講座からお選び頂けます)

・所要時間：30分程度 (講座によって異なります)

## 富山県中央植物園だより No.111

令和6 (2024) 年3月25日発行

編集・発行 / 富山県中央植物園

(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtym.org/>

公式 Instagram